

～美しが丘1・2・3丁目にお住まいの方へおトクなお知らせ～

この夏節電してトクしちゃおう！

次世代郊外まちづくり

せつでん



家庭の節電プロジェクト

たまプラーザ駅周辺の商業施設などで使える

次世代郊外まちづくりポイント
最大2,000円プレゼント！

参加受付中！

参加受付期間：2013年6月20日～8月31日
実施期間：2013年7・8・9月の3カ月間

まずは参加条件をチェック！

✓横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目に住んでいる

- ・上記の地域内に居住の方に限ります（店舗は除く）。
- ・上記対象地域以外の方は参加いただけません。また、同一世帯の複数参加はできません。

✓東京電力と契約している

- ・2012年6月までに東京電力と電気契約をしている方が対象です。

✓インターネットに接続できる

タブレット・スマートフォンもOK!

- ・当プロジェクトでは、申込書類提出後に専用サイトでネット登録が必要です。パソコン、タブレット、スマートフォンから接続可能です。
- ・Eメールアドレス（携帯電話・PHSは対象外）をお持ちの方が対象です。

【お問い合わせ】次世代郊外まちづくり 家庭の節電プロジェクト実行委員会事務局

TEL.045-902-8957 10:00～17:00（土・日・祝日、年末年始を除く）

専用サイト <https://savepower.jp/jisedai/>

【主催】



横浜市



東急電鉄

参加方法の詳細はコチラ▼

<https://savepower.jp/jisedai/>

【協賛:スマートコミュニティ推進部会】 イッツ・コミュニケーションズ株式会社、株式会社NTTファンリティアーズ、JX日鉱石エネルギー株式会社、株式会社東芝、東急建設株式会社、東京ガス株式会社、株式会社ビットメディア

【協力】 たまプラーザ商店会、たまプラーザ中央商店街、たまプラーザ駅前通り商店会、イトーヨーカドー たまプラーザ店、たまプラーザ テラス、東急百貨店たまプラーザ店、たまプラーザ テラス東急ストア

※次世代郊外まちづくりの詳細はホームページにて公開しています。

<http://jisedaikogai.jp/>



横浜市



東急電鉄

美しが丘1・2・3丁目にお住まい・お勤めの皆さまへ

次世代郊外まちづくり通信

2013年7月発行

編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

[連絡先] 横浜市建築局企画課

☎045-671-3628

vol.6

次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです。

～リーディング・プロジェクト2013～

「住民創発プロジェクトーシビックプライド・プロジェクトー」が始まります！



横浜市と東急電鉄は、今年6月19日に発表した「次世代郊外まちづくり基本構想2013」に基づき、2013年度リーディング・プロジェクトの一つである、「住民創発プロジェクトーシビックプライド・プロジェクトー」を開始します。

「次世代郊外まちづくり」のモデル地区である、東急田園都市線たまプラーザ駅北側地区において、「次世代郊外まちづくり基本構想」の基本方針や取組みに合致し、多世代が支えあう元気で豊かなコミュニティの実現を目指して、地域住民の皆さまが主体となって行動していく企画提案を、地域住民の皆さまやNPOをはじめとする活動団体、さらには

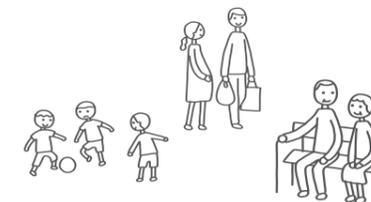
民間事業者の皆さまから広く募集し、住民創発のプロジェクトの実現を支援していきます。講評会を通過した企画提案に対して、最大50万円の支援金の交付や、専門家による支援体制、住民と民間事業者のマッチングなど、さまざまな方法を通じて、その活動を支援していきます。

これに伴い、8月3日（土）に「次世代郊外まちづくり基本構想」の説明会と、「住民創発プロジェクトーシビックプライド・プロジェクトー」の企画提案の募集説明会を、田園都市線たまプラーザ駅前の「たまプラーザ テラス」リンクプラザで開催します。

*詳細は、3ページをご覧ください。

住民創発プロジェクトーシビックプライド・プロジェクトー とは

次世代郊外まちづくりの5つの基本方針の一つである、「豊かさ～人が活躍するまち～」の実現を目指して、地域住民の皆さまがまちづくりの主役となって行動を起こすことによって、多世代が支えあう元気で豊かなコミュニティを実現し、コミュニティ・ビジネスなどの地域の経済モデルや持続可能なまちづくりの仕組みを創り出していく取組みです。



「シビックプライド」とは、地域住民が自分のまちに愛着や誇りを持って、「まちを魅力的にしていくのは住民自身の行動や活動」という意識をもつことです。この考え方は、近年、都市再生が進むヨーロッパ各都市において脚光を浴びているもので、日本でも行政の厳しい財政状況や人口減少、高齢化などの社会背景をもとに、住民が新たな発想で行動を開始し、行政や企業と連携してまちづくりに関わっていくことが期待されています。

この取組みを通じて、地域の女性や元気なシニア、若い世代など、まちの新しい担い手の活躍の機会を創りだしていくとともに、住民創発プロジェクトに参画した地域住民の皆さまが、まちづくりの楽しさを知り、人が活躍する元気で豊かなコミュニティが形成されることによって生まれる豊かさを実感することで、さまざまな形でのシビックプライド（まちへの愛着や誇り）を醸成し、「次世代郊外まちづくり」が目指す郊外住宅地の持続と再生への第一歩としていきます。

「次世代郊外まちづくり」とは

横浜市と東急電鉄が2012年4月に締結した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、東急田園都市線沿線の「既存のまち」を舞台に、住民の高齢化や若い世代の減少、住宅やインフラの老朽化、コミュニティの希薄化など、今後、大都市近郊の郊外住宅地が抱えていく様々な課題を、地域住民、行政、大学、民間事業者が連携・協働した新しいまちづくり手法によって解決し、良好な住宅地とコミュニティの持続、再生を目指していくプロジェクトです。

たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目）をモデル地区に選定し、ワークショップを中心とした住民参画の取組みや、各種暮らしのインフラ検討部会など様々な取組みを進めてきました。

今年6月には、これまでの取組みや検討成果をまとめて「次世代郊外まちづくり基本構想2013 一東急田園都市線沿線モデル地区におけるまちづくりビジョン」を発表し、良好な住宅地とコミュニティの持続・再生を実現するビジョンとして、「豊かさ」「暮らし」「住まい」「土台」「仕組み」の5つの基本方針と10の取組みを提示しました。

今後は、モデル地区や東急田園都市線沿線で具体的な取組みを進め、地域住民の皆さまやNPOなどの活動団体、民間事業者の皆さまとともに、郊外のまちの魅力と価値に一層磨きをかけ、次世代に引き継ぐことのできる元気で豊かな郊外住宅地を実現させていきます。

「住民創発プロジェクトーシビックプライド・プロジェクトー」は、その第一歩の取組みです。多くの皆さまのご参画をお待ちしています。



5つの基本方針と郊外住宅地の持続と再生に向けた10の取組み

豊かさ 「人が活躍するまち」を実現する

- (1) 多世代が支えあう元気で豊かなコミュニティを創出する
- (2) 地域の経済モデルを創出する

暮らし 多世代・多様な人々が暮らし続けられる「暮らしのインフラ・ネットワーク」を再構築する

- (3) まちぐるみの保育・子育てネットワークを実現する
- (4) 在宅医療を軸とした医療・介護連携の地域包括ケアシステム「あおばモデル」を実現する
- (5) 新しい地域の移動のあり方を提示していく
- (6) 既存のまちの公的資源を有効活用する

住まい 住まいと住宅地を再生、再構築していく～多様な住まい方が選べるまち～

- (7) 既存のまちの再生の仕組みを創出する～大規模団地や企業社宅等の再生～
- (8) 戸建住宅地の持続の仕組みと暮らしの機能を創出する

土台 生活者中心のスマート・コミュニティを実現する

- (9) 「環境」「エネルギー」「情報プラットフォーム」を構築していく

仕組み

まちづくりを支える持続可能な仕組みを創っていく

- (10) 担い手となる組織を創り出し、まちづくりの主体としていく

▶▶▶「次世代郊外まちづくり基本構想2013」は、ホームページで公開しています。【<http://jisedaikogai.jp/>】

住民創発プロジェクト 募集概要について

応募資格

以下の条件をすべて満たす団体に限ります。

- 3人以上の団体であること（法人も可）。
- モデル地区（横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目）にお住まいの方、モデル地区内に将来住みたい方、モデル地区に愛着のある方、モデル地区のまちづくりに関わりたい方であること。
- 講評会、活動報告会に必ず参加でき、その他の本プロジェクトの各種行事にも積極的に参加できること。

支援金

一つの企画提案につき、最大50万円を交付します。

- 実施支援金 : 上限50万円
- 企画検討支援金 : 一律5万円

（※支援金を交付する団体数には限りがあります。）

対象となる企画提案

以下の条件をすべて満たす企画提案を対象とします。

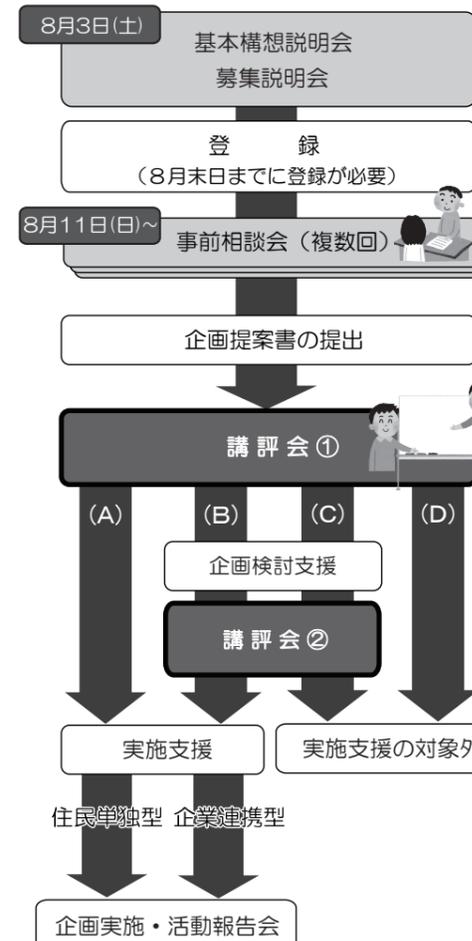
- 企画提案の内容が、「次世代郊外まちづくり」の基本方針・取組みに合致していること。
- 企画提案の実施対象箇所が、モデル地区（横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目）を含んでいること。

主な審査のポイント

- ◎モデル地区の特性を踏まえ、課題解決に結びつけていること
 - ◎今後のまちづくり活動が期待されること
 - ◎対象地域への波及効果があること
- （※企業からのテーマ提案やマッチングもあります。）



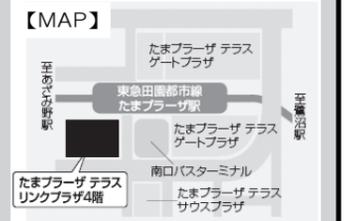
住民創発 支援の流れ



▼事業の概要・支援内容・募集要項などの詳細は、募集説明会にてご説明します。

●8/3(土)に説明会を開催します!

- 【開催日】平成25年8月3日(土)
- 【時間】第一部 基本構想説明会(14:00～) 第二部 募集説明会(①15:00～、②19:00～)
- 【場所】たまプラーザ地域ケアプラザ(たまプラーザ駅徒歩1分) (「たまプラーザ テラス」リンクプラザ4階)



- 【内容】基本構想の説明を行った後、本プロジェクトの説明会を行います。 ※募集説明会①②は同じ内容です。ご都合のよい回にご参加ください。 ※基本構想説明会または募集説明会どちらかのみ参加も可能。 ※当日は民間事業者からのテーマ提案もあります。

企画実施に向けたサポート

- ・専門家のアドバイス(企画提案書の作成支援)
- ・地域住民と民間事業者間のマッチング 等々

支援金交付

- (A) 実施支援金として上限50万円を支給
- (B) 企画検討支援金として一律5万円、実施支援金として上限45万円を支給
- (C) 企画検討支援金として一律5万円を支給
- (D) 支給なし